

SCE-02 USB インターフェース 取扱説明書

1WMPD4002096

1. 特長

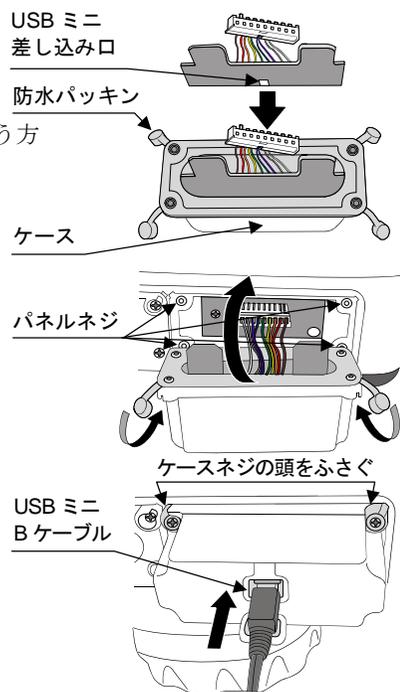
- ・パソコンにはかりを USB 接続して、計量値をパソコンに送信することができます。対象 OS は、Windows 98SE 以降です。
- ・Windows 標準のドライバを使用するため、複雑な専用ドライバのインストールが不要で、接続だけで計量値を送信できます。
- ・Windows の Excel や Word、メモ帳など、どのアプリケーションにもデータを送信できます。

注意： ・パソコンに送信できるデータは計量値のみとなります。ヘッダ、単位は送信されません。
・パソコンからはかりにコマンドを送ることはできません。コマンドによりはかりを制御したい場合は、SCE-03 の RS-232C をご使用ください。
・SCE-02 と SCE-03 の同時使用はできません。
・パソコンのスクリーンセーバー、サスペンドモードはオフにしてください。
・Windows、Excel、Word は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

2. 取付方法

注意：本体から電池を外した状態で、以下の作業を行ってください。

- 手順1 基板を USB ミニの差し込み口が付属ケースの下部の穴に合う方向で、ケースの溝に沿って入れます。
- 手順2 防水パッキンを付属ケースのネジ穴の位置に合わせます。
- 手順3 表示器の右側のパネルのネジ（4本）を外します。
- 手順4 基板の差し込みコネクタと表示器の端子台を接続します。
- 手順5 ケースのネジ（4本）を締めます。
- 手順6 締めたネジの頭の部分に、飛び出している防水パッキンでふさぎます。
- 手順7 別売の USB ミニ B のケーブルを、ケース裏の差し込み口に差し込みます。



3. 使用方法

- 手順1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。次に、はかりの電源を入れます。
 - 手順2 USB ケーブルをはかりとパソコンに接続します。
- 注意： USB ケーブルの接続は、はかりのデータ出力モードをストリームモード以外の設定で行ってください。
- 手順3 初めて接続する場合、ドライバがインストールされます。詳細は「4. Windows 標準ドライバのインストール」をご覧ください。2回目以降はこの手順は必要ありません。
 - 手順4 計量データを送信するパソコンのアプリケーション（Excel など）を起動します。キーボードの入力モードを半角設定にします。計量データを送信したい位置にカーソルを合わせます。
 - 手順5 はかりの「プリント」キーを押すと、現在カーソルがある位置に計量データが送信されます。
 - 手順6 終了する際は、そのまま USB ケーブルを抜きます。

4. Windows 標準ドライバのインストール

- Windows 2000/Me/XP の場合
接続だけで自動でドライバがインストールされます。インストールが完了するまでお待ちください。
- Windows 98 の場合

手順1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」を押します。



手順2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択して「次へ」を押します。



手順3 すべてのチェックを外して「次へ」を押します。



手順4 「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」が表示されていることを確認して「次へ」を押します。



手順5 ドライバがインストールされます。インストールが完了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンを押します。



※ インストール中に Windows 98 の CD-ROM を入れるようにメッセージが出ることがあります。この場合、Windows 98 の CD-ROM を入れて、「OK」を押してください。